

2月の予定

- 2日(木) 誕生会
- 7日(火) 園公開
- 16日(木) 避難訓練
- 22日(水) 劇団風の子公演
- 27日(月) 新入園児説明会



もちつき



大人がもちをつく姿に興味津々。もち米ともちの食べ比べをして味や食感の違いを知ることができました。つきたてのモチは、あんこと砂糖醤油につけて食べました。つきたては美味しくて、パクパクと口に運んでいました。今年は感染症防止のため、職員がいたり丸めたりしました。

3月の予定

- 3日(金) 誕生会
- 7日(火) 卒園旅行
- 10日(金) 健脚活動⑤
- 13日(月) 避難訓練
- 20日(月) 卒園式
1号認定児修了式
- 22日(水) 1号認定児春休み
- 29日(水) ~ 31日(金) 自由登園

十ゼ? に答えます!!!

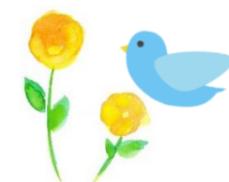
「描画はどうしてこの紙」

こども園で描画をする時に使っている紙は、はな組からそら組まで同じ紙を使っています。スケッチブックなどとは違い、大きめでクリーム色をしています。こどもたちがのびのびとどんどん書き込むことができるこだわりの大きさです。小さいクラスのこどもたちも自由に腕を動かして描くことを楽しむ事ができます。また、クリーム色なので白色のクレヨンや絵の具を使うことができるのもこの紙の素敵な所です。



給食室の窓

給食室の中から見えるホールの景色です。みんなの表情がよく見えます。歌声や話し声、ピアノの音も聞こえてきます。調理作業中もこどもたちの様子が見られ、給食職員も楽しい気分になります。こどもたちがホールに集まると「お、今日は何が始まるんだろう」とワクワクしてつい見てしまいます。



あすなろっこ

回覧

令和5年2月1日発行

社会福祉法人岡山こども協会 あすなろこども園

〒709-0802

岡山県赤磐市桜が丘西3-14-19

TEL (086) 955-5665

こども園のホームページ
クラスのブログもみてね!



<https://asunaro.okayamakodomokyoukai.jp>

あすなろこども園

検索

『やればできる』

先日、正月あそびでコマ回しをしました。やり方を説明すると、「やってみたい!」とコマ回し大会がはじまりました。しかし、しばらくすると「できん」と諦めてしまうこどもたち。中には粘り強く頑張る子もいましたが、遠くから羨ましそうに眺めている子、無関心な子がほとんどでした。ちなみに私も回せません。保育者が回せずにこども達と一緒に楽しむことはできませんね。自宅で園で私の猛特訓がはじまりました。こどもたちからは最初「あ、青江さん何かしようわ」といった様子でしたが「やればできる!」を合言葉に次第にこども達が集まり、コマに関心を示すようになり、一緒に練習するようになりました。試行錯誤する中で「こうやって巻くんよ」「手はこっち」など紐の巻き方、投げ方をこども同士で教え合います。だんだんと「できた!」という声が聞こえるようになりました。「できたよ!」と嬉しそうに教えにくるこどもたちの笑顔がわたしは大好きです。

小さな成功体験から生まれる心の中に芽生えた自信。この自信の積み重ねが新たな大きな山を乗り越える力になります。温かく見守られた眼差しの中で過ごした経験が、こどもの「やればできる」という自信を作るのです。大人になった時、こども園でこんなことやったな、あんなことやったなと少しでも思い出に残っていれば嬉しいです。そして保育者の温かい声かけ、頑張った達成感はいつまでも忘れず、いずれその子の力「生きる根っこ」になるといいなと思います。その大切な乳幼児期に関わる保育者として、温かさ、優しさ、頑張る原動力を与えられる存在でありたいです。

ほし組 青江仁美

知って! こども園

「砂場の砂のヒミツ」

あすなろこども園の砂場の砂は、実はこだわりの砂なんです。岡山県産の砂を使用していて、その砂の特徴は、手触りがやわらかくさらさらで、ふわふわしていて、きめが細かく、ぎゅっと握ると固まります。こどもたちも「やわらかい」「きもちいい」と手触りを楽しみながら、喜んで日々遊んでいます。

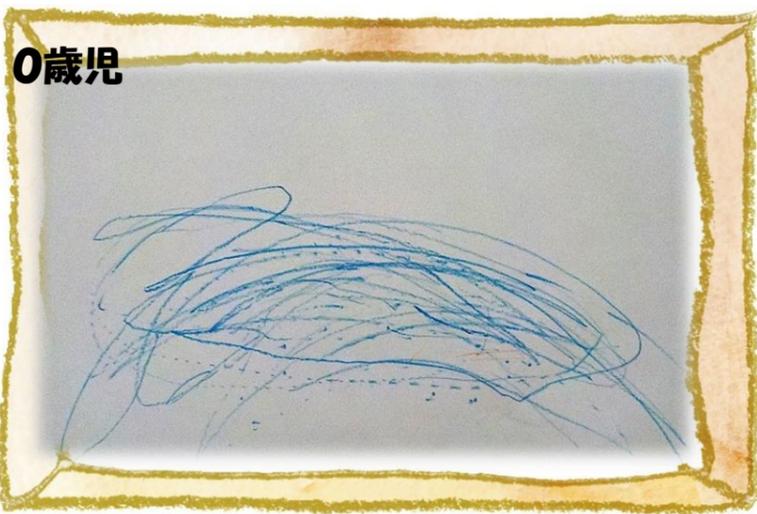


描画紹介

~PART2~

この時期（5・6歳）は『人形』『車』『花』『家』などの定型の描き方を覚えてそればかり描き、絵を描かないようになることも多いです。
 ☆形式に対する模倣が容易になり、外部の影響も受けやすくなるので、大人が描き方を教えたり、ぬり絵を与えたりするとこどもはすぐに真似てしまい、表現の進歩が止まってしまう危険があるので、園では思いおもいに描くことを大切にしています。
 そこで、絵の具をたっぷりつけて、太い絵筆で自由に描いてみることで描くこと自体の楽しさを味わうことができるようにしています。絵を楽しんだりドンとかたまりを描いたり…その時々的心情が表れて、こだわりがやわらいだり、消えていったりすることもよくあります。

★各年齢での発達の目安を載せています。



0歳児

【手の痕跡運動】
 1歳2、3ヶ月から1歳6ヶ月頃は肘を軸にした手の働きで絵を描くので扇形の左右往復型のなぐり描きになります。



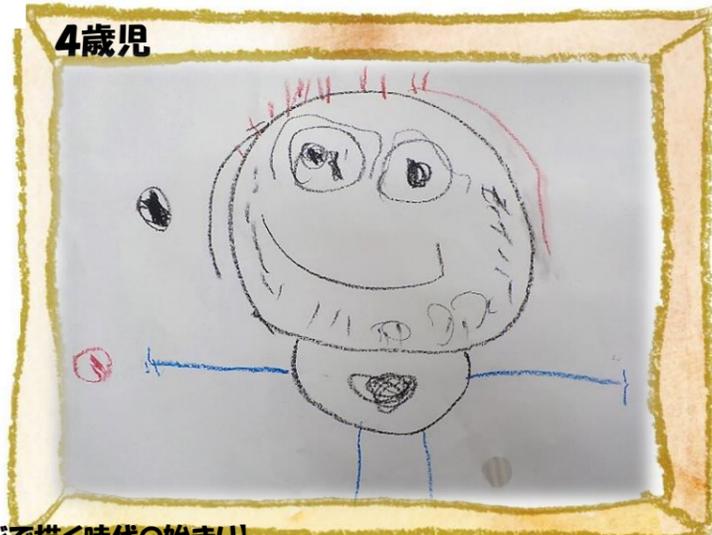
5歳児

【自分の経験を絵に】
 楽しかったことや頑張ったことなどを、自分がした経験を絵にすることができるようになります。その時の表情や衣服の色まで再現することもあります。



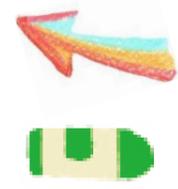
1歳児

【手の痕跡運動・なぐり描き】
 手首や指の関節を使った小さい渦巻き状や、上下縦往復型なぐり描きにもなります。



4歳児

【イメージで描く時代の始まり】
 頭から手足が出る『頭足人間』を描き始めるようになります。そして次第に新しい発見に気づき、今までのパターンにつけ加えていくのです。この時期の後半では、胴体に気づき、頭足人間に身体ができるのです。大人はつい「足は頭から出てないよ」と人の描き方を教えたくるのですが、こどもは自分で獲得した認識を表現しながら一つひとつ確かめているのです。



3歳児

【たくさんの丸でおしゃべり】
 丸や点々や横線だけの「頭部人間」が現れてくるようになります。（後に出てくる「頭足人間」の一手手前の絵です）
 また、自分の身の回りの人々をイメージして描くようになります。



2歳児

【手と目の協応】
 閉じた丸（描き始めたところに戻って線をつなぐ）などが描けるようになります。
 なぐり描きに「これは〇〇で、こっちは△△で…」と、意味づけをすることも始まります。